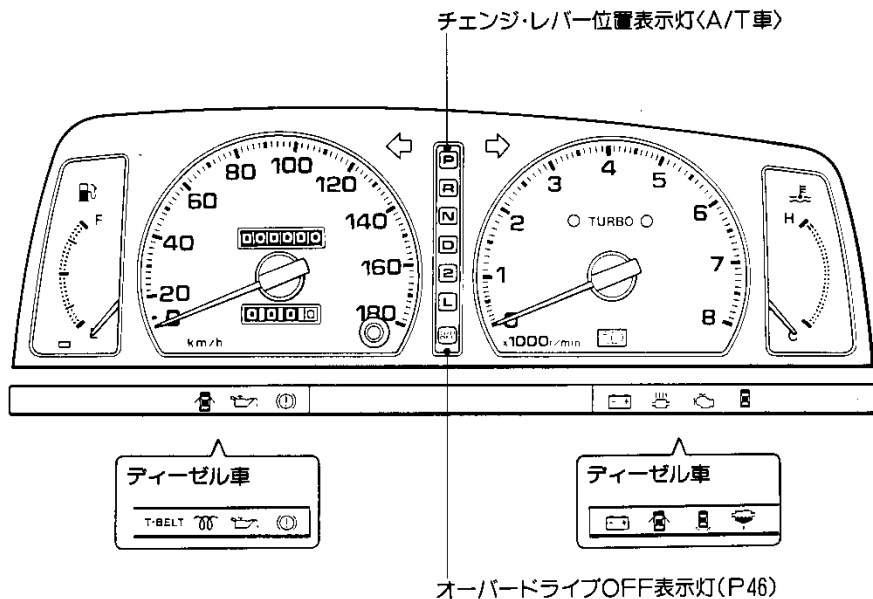


メーター、表示灯、警告灯の見方

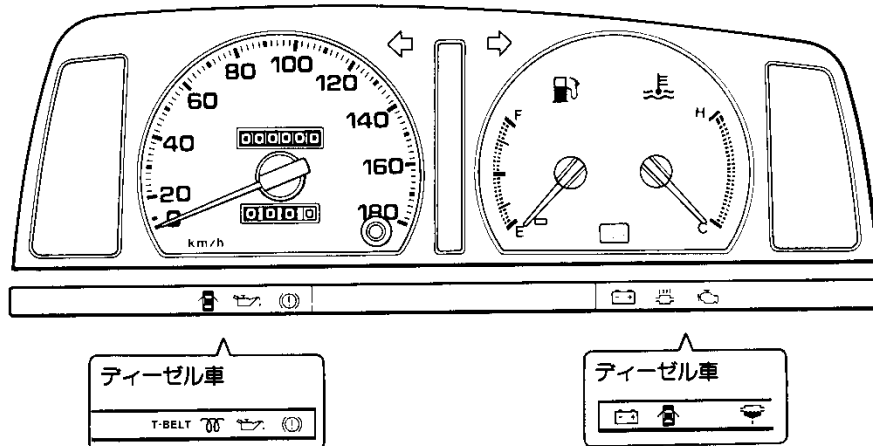
LG、GR、GL(タクシー仕様を除く)

- スピードメーターの表示は、ディーゼル車(2L)のみ 0~160 km/h
- タコメーター(エンジン回転計)の表示は、ディーゼル車のみ 0~6000r/min
- 断線警告灯はLG、GRのみ
- エンジン警告灯、排気温警告灯はガソリン車のみ
- 予熱表示灯、燃料・水分離器水位警告灯、タイミング・ベルト交換警告灯はディーゼル車のみ
- ターボ作動表示灯&ターボ警告灯はターボ・ディーゼル車(2L-T)のみ



GL(タクシー仕様)、STD

- スピードメーターの表示は、ディーゼル車のみ 0~160km/h
- エンジン警告灯はガソリン車のみ
- 燃料残量警告灯はガソリン車、ディーゼル車のみ
- 排気温警告灯はガソリン車、LPG車のみ
- 予熱表示灯、燃料・水分離器水位警告灯、タイミング・ベルト交換警告灯はディーゼル車のみ



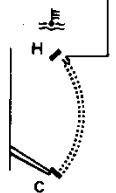
(注)A/T……オートマチック・トランスミッション

メーター、表示灯、警告灯の見方

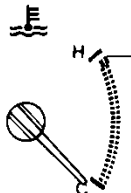
メーター

水温計

赤色表示部



赤色表示部

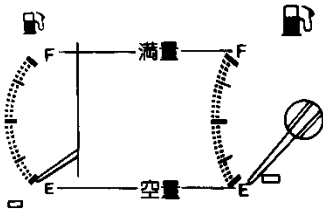


エンジン・スイッチがONのとき、エンジン冷却水の温度を示します。



指針がHの赤色表示部にはいったときは、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、82ページの「オーバーヒートの処置」にしたがって処置をしてください。

燃料計



エンジン・スイッチに関係なく燃料残量を示します。

燃料タンク容量は65ℓ(LPG車は82ℓ)です。

燃料補給後、エンジン・スイッチをONにしてから指示が安定するまで、少し時間がかかります。

スピードメーター

車両の走行速度を示します。

約100km/hをこえるとチャイムが鳴り警告します。チャイムが鳴っているとき指針がふれることがあります異常ではありません。

タコメーター(エンジン回転計)

毎分のエンジン回転数を示します。

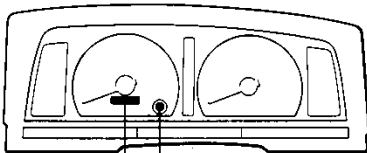


指針が赤色表示部(エンジン許容回転数をこえている)にはいらないように運転してください。

オドメーター(積算距離計)

走行した総距離をkmの単位で示します。

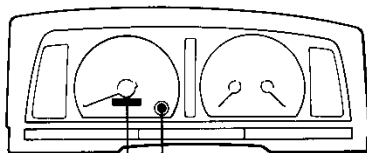
トリップ・メーター(区間距離計)



表示部 ツマミ

区間距離をkmの単位(黒文字は100m)で示します。

0にもどすには
ツマミを押します。



表示部 ツマミ

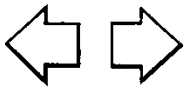
表示灯

ヘッドランプ上向き表示灯



ヘッドランプを上向きにすると点灯します。

方向指示灯表示灯&非常点滅灯表示灯



方向指示灯表示灯

エンジン・スイッチがONのとき方向指示レバーを操作すると点滅します。

点滅が異常に速くなったときは、方向指示灯の電球切れが考えられます。

非常点滅灯表示灯

非常点滅灯スイッチを作動させると、両方の方向指示灯表示灯が同時に点滅します。

ターボ作動表示灯



エンジン・スイッチをONにすると点灯し、エンジンを始動すると消灯します。

エンジン回転中、ターボが作動すると点灯します。

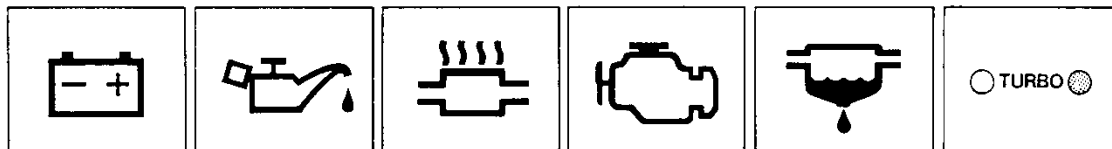
予熱表示灯



エンジン・スイッチをONにすると点灯し、予熱プラグの加熱が完了すると消灯します。

警告灯

下図の警告灯は、エンジン・スイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけて消灯すれば正常です。エンジンがかかっているときに警告灯が点灯したときは、処置が必要です。



充電警告灯

エンジン回転中、充電系統に異常があると点灯します。



処置

エンジン回転中に点灯したときは、ファン・ベルトの切れなどが考えられます。ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。

油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力に異常があると点灯します。



「油圧警告灯」はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ず運行前にオイル・レベル・ゲージにより行ってください。
(点検方法は「整備手帳」を参照してください。)



処置

エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車しエンジン进行を止めて、トヨタ販売店へご連絡ください。

排気温度警告灯

エンジン回転中、触媒装置の温度が異常に高くなると点灯します。

エンジン回転中、「充電警告灯」と「排気温度警告灯」が同時に点灯したときは、触媒の温度上昇を警告しているのではなく充電装置の異常を警告しています。



処置

- エンジン回転中に点灯したときは、ただちに枯れ草などの燃えやすいもののない安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。
- 約10分間エンジンを止めたあと、エンジンを始動して消灯していれば走行できます。
- 消灯しないときまたは再び点灯するときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で点検を受けてください。

エンジン警告灯

エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯します。



処置

エンジン回転中に点灯したときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

燃料・水分離器水位警告灯



エンジン回転中、燃料・水分離器内に規定レベル以上の水がたまると点灯します。

エンジン回転中、「充電警告灯」と「燃料・水分離器水位警告灯」が同時に点灯したときは、水位を警告しているのではなく充電装置の異常を警告しています。



- エンジン回転中に点灯したときは、ただちに排水してください。
- 点灯したまま走行を続けると、噴射ポンプが焼きつきエンジンを損傷するおそれがあります。
(排水方法は「整備手帳」を参照してください。)

ターボ警告灯



エンジン回転中、ターボ装置に異常があると点灯します。



- エンジン回転中に点灯したときは、エンジン回転を2000回転以下にして走行し、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

タイミング・ベルト交換警告灯

T-BELT

走行距離が10万kmをこえるとエンジン回転中に点灯し、タイミング・ベルトの交換をうながします。



- エンジン回転中に点灯したときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
- 点灯したまま走行を続けると、タイミング・ベルトが切れてエンジンを損傷するおそれがあります。

ブレーキ警告灯



エンジン・スイッチがONのとき次のような場合に点灯します。

- パーキング(駐車)・ブレーキをかけたままのとき
(ブレーキを解除すれば消灯します。)
- ブレーキ液の不足
- ブレーキ・ブースター(ブレーキ倍力装置)系統の異常
<ディーゼル車のみ>

エンジン回転中、「ブレーキ警告灯」と「充電警告灯」が同時に点灯したときは、オルタネータ用ベルトの切れが考えられます。<ディーゼル車のみ>

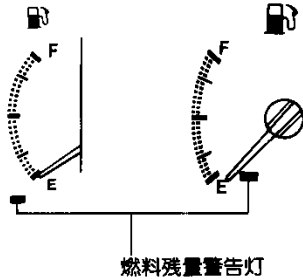


- エンジン回転中にパーキング(駐車)・ブレーキを解除しても点灯したままのときは、ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。
- この場合ブレーキの効きが悪くなっているおそれがありますので、ブレーキ・ペダルを踏み効きが悪いときは、ブレーキ・ペダルを強く踏んでください。

この警告灯は、エンジン回転中に点灯した場合、エンジンの異常を示しています。エンジンの回転を2000回転以下にして走行し、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

メーター、表示灯、警告灯の見方

燃料残量警告灯



エンジン・スイッチがONのとき約10ℓ以下になると点灯します。

半ドア警告灯



ドアが確実に閉められていないときに点灯します。

断線警告灯



エンジン回転中、ライト・スイッチをONにしたときおよびブレーキ・ペダルを踏んだとき、各ランプの電球切れ、配線に異常があると点灯します。